

徳	1	あいさつ運動の推進	充実したあいさつ運動の取組が行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表委員会を中心とした、クラスでの取組 ・アメニティー委員会を中心とした取組 ・あいさつ標語の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ振り返りカードの実施やあいさつ標語作りなどを通して、あいさつをすることへの意識が高まっている。 ・教④3%③45%②45%①7% ・保④15%③47%②32%①5% ・子④44%③37%②16%①3% 	A	<table border="1"> <tr><td colspan="3">3.34</td><td colspan="3">100</td></tr> <tr><td>4</td><td>34</td><td>3</td><td>66</td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動は活発に行われたが、日常的にあいさつができるところまでは至っていない。 ・あいさつとは何か、問い直しが必要。子どもにとって実感・納得できるものになりたい。 	3.34			100			4	34	3	66	2	0	1	0
	3.34			100																	
	4	34	3	66	2	0	1	0													
2	花（と緑）いっぱい活動の推進	充実した花（と緑）いっぱい活動の取組が行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の生活科・総合を中心とした栽培活動の実施 ・フラワー委員会を中心とした校舎内外の栽培活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年生から1年生へのゼラニウムの贈呈を行ったり、3年生が幼稚園児と一緒に「ワンちゃんプランター」の作成を行ったりした。 ・生活科ではドームアサガオの栽培や野菜の栽培を行ったり、総合学習ではジャンボカンナを栽培したりした。 ・見附市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 ・全国花いっぱいコンクール毎日新聞社賞受賞 	A	<table border="1"> <tr><td colspan="3">3.18</td><td colspan="3">89</td></tr> <tr><td>4</td><td>29</td><td>3</td><td>60</td><td>2</td><td>11</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の、創意と工夫のなされた花や緑がいっぱいである。 ・みんな、よく取り組んでいると思う。目的意識がもう少しあると、さらによいと思う。 ・花はたくさんある。あとは、どれだけ子どもたち自身の思いで、子どもたち自身の手でできるかが課題。 	3.18			89			4	29	3	60	2	11	1	0	
3.18			89																		
4	29	3	60	2	11	1	0														
3	適切な生徒指導の実施	適切な生徒指導の取組が行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ・生活指導部を中心とした情報の共有と、全校的対応の推進 ・全校朝会等を活用した全体指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ根絶強調月間にいじめ防止標語を作ったり、ふれあいホットタイムを設定したりした。 ・けがや問題行動・交通事故等に対応して、全校体制で改善を図った。 ・教④7%③77%②13%①3% ・保④20%③66%②11%①2% ・子④46%③39%②12%①3% 	A	<table border="1"> <tr><td colspan="3">3.34</td><td colspan="3">100</td></tr> <tr><td>4</td><td>34</td><td>3</td><td>66</td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・キラキラ朝会での指導・放送を使った即時指導等、事あるごとに素早い丁寧な指導が行われてきた。指導事項を共通理解したことで、子どもの動きが変わった。 ・「ちょっと聞かせてアンケート」を毎月することにより、人間関係や気持ちの変化等を把握でき、すぐに対処できてよかった。ふれあいホットタイムで子ども一人一人との距離が縮まった。 	3.34			100			4	34	3	66	2	0	1	0	
3.34			100																		
4	34	3	66	2	0	1	0														
体	1	食育の推進	充実した食育の取組が行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養士と連携した給食指導の実施 ・ランチ委員会を中心とした「モリモリ週間」の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校栄養士による学級を訪問しての「食に関する指導」を行った。1～4年の各クラスは1時間、5・6年は0.5時間行った。 ・学年ごとに、食育をテーマにした授業参観を実施した。 ・「モリモリ週間」では、給食の残量が1回目と比べて減ってきた。 ・保④81%③14%②4%①2% ・子④58%③25%②13%①4% 	A	<table border="1"> <tr><td colspan="3">3.29</td><td colspan="3">100</td></tr> <tr><td>4</td><td>29</td><td>3</td><td>71</td><td>2</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を食べる量が増えた。 ・教科学習においても内容関連の図れるところで、行っている。 ・「給食モリモリ週間」も2年目になり、担任・子ども共に意識が高まっている様子がうかがえる。 	3.29			100			4	29	3	71	2	0	1	0
	3.29			100																	
4	29	3	71	2	0	1	0														
2	生活習慣の確立	充実した生活習慣確立の取組が行われたか	<ul style="list-style-type: none"> ・学級・全校を対象とした早寝早起きの継続的な指導 ・保健学習・学級指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者アンケートの結果を使って、学級指導を行ったり保護者会で共通理解したりした。 ・夏季・冬季休業中の子どもたちの生活表に、早寝・早起きの項目を作って全学年で取り組んだ。 ・保⑥18%⑤31%④30%③15%②5%①1% ・子④40%③26%②20%①9% 	B	<table border="1"> <tr><td colspan="3">2.82</td><td colspan="3">76</td></tr> <tr><td>4</td><td>6</td><td>3</td><td>70</td><td>2</td><td>24</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・寝る時間の遅い子が多い。家庭への啓発と連携が必要。 ・生活習慣の確立には、保護者の意識・取組によるものが多く、限界も感じられる。 	2.82			76			4	6	3	70	2	24	1	0	
2.82			76																		
4	6	3	70	2	24	1	0														